

# 農村伝道神学校学報

学校法人鶴川学院  
農村伝道神学校  
発行人 高柳 富夫

安全保障関連法廃止！  
辺野古新基地建設反対！

## 「神と土と人」

— 現代宣教の課題 —

(創世記一～三章)

校長 高柳 富夫

わたしたちは現在、核を廃絶できるかどうかという根源的な課題の前に立たされております。三・一一以降、核の軍事利用は危険だが平和利用ならば安全だという理屈はもはや成り立ちません。

「人類は核と共存することはできない。」

この命題を深刻にかつ真剣に受け止め、この命題を巡る思想を深めていく以外に、持続可能な世界を実現していくことはできないでしょう。

創造者から託された土（自然、大地、他の被造物）に仕え、土を守る使命をいかに果たしていくのか。これはまさに、現代を生きるキリスト者と教会に問われている現代宣教の本質的な課題です。

創世記一章～三章を読みますと、神と土と人との関係が

興味深く展開されており、

第二章五節、一五節、三章二二節に、繰り返して「土を耕し守る」（新共同訳）という表現が出てきますが、これはより適切には「土に仕え（アーバド）守る」と訳されるべき言葉です（フリス・トリブル、月本昭男）。

「土を」と言うので「耕す」と翻訳したのでしようが、通常「耕す」と訳される言葉はハーラシュという別の言葉があるのので、ここで用いられているアーバドは「仕える」が第一義であり、この動詞からエバド（仕える者、僕）という名詞も派生してきます。

人間に託された使命は、同じく神によって創造された土に仕えることだと言われていることに、よくよく注意深くする必要があります。ここを「耕す」と訳してしまつては、

聖書記者が伝えようとしている事柄の本質から少なからずズレてしまうことになりましょう。

この記事を書いた聖書記者は、なぜ「土を耕す」という言葉を用いたのでしようか。それは意識的自覚的に伝えたいことがあるからです。つまり、土は本来、神と人の間に位置付けられるものであるというメッセージです。人は土に仕え土を守るために、神によって造られたのです。あるいは人は土に仕え土を守ることを通して神に仕える者とされていると言ひ換えてもよいでしょう。

さらに聖書の言葉を注意深く読みますと、土には特別な位置付けが神から与えられていることが分かります。

一章一節～二節には「地は草を芽生えさせよ」と神から地への呼びかけがあり、その呼びかけに応えて「地は草を芽生えさせた」とあります。また、二四節には「地は、そ

れぞれの生き物を生み出せ」とあり、さらに二章七節には「主なる神は、土の塵で人を形づくり」とあります。

つまり、神は植物や動物を直接に創造したのではなく、地に呼びかけ語りかけ、その神からの呼びかけに地が応答することによってそれらの「いのち」を生み出したのだと言われているのです。そして、人間もまた土から造られたのだと言われています。土は「いのち」と深く根源的な関わりを持つものとして位置づけられていることに注目させられます。

なぜ、最初の人間がアダムと呼ばれるのでしょうか。それは、土（アダマ）から造られたからです。決して最初にアダムという男が造られたと言いたいわけではありません。アダム（男ではなく人）は本来は土であり、神が生命の息を吹き入れたので生きたものとなったこと。つまり人間はその生命存在を土と神にまつたく依存しているということを言いたいのです。

ですから、「いのち」とは何かについて考えるとき、聖書の言葉は、土と「いのち」との切っても切れない密接な結びつきを考えていることになり、土を抜きにして、土を無視しないがしろにして、

「いのち」のことを考えることはできないということ。土を汚すことは「いのち」を汚すことであり、土を破壊することは「いのち」を破壊することです。

農伝の「農の神学」の根底には「三愛精神」があることはよく知られています。三愛とは「神を愛し、人を愛し、土を愛する」ということで、この三つの愛を生きることで、人間を人間として人間らしく良く生かす基本だということ

この「三愛精神」は、デンマークの教育者グルントヴィ（一七八三―一八七二）の影響を強く受けたクリステン・コル（一八一六―一八七〇）によって初めて言われたものであろうと考えられています。コルの言葉は「神を愛し、隣人を愛し、国土を愛する」というものだったようですが、「国土」という言葉が「祖国」と訳されることもあって、民族主義や国粹主義に利用されたことへの反省から、「国土」ではなく、より普遍的に「土を愛する」と言われるようになったのです。

三愛精神に基づいてフオールケホイスコレ（国民高等学校）という教育活動が展開され、日本では山形の独立学園、島根の愛真高校、三重の愛農

高校、また、酪農学園大学やアジア学院などが存在します。農民福音学校もこの精神によつて推進され、三愛塾運動は現在も続けられています。

もちろん、「三愛精神」は聖書の信仰思想に由来するものですが、既に述べた創世記一〜三章における「土」の位置付けに着目するならば、「神を愛し、人を愛し、土を愛する」という順序でよく言われてきている表現は、むしろ「神を愛し、土を愛し、人を愛する」という、神と人との間に土を位置付ける順序で考えられてこそ、「三愛精神」を聖書のメッセージに即して適切に伝えることになるのではないかと考えます。

核廃絶に向き合う現代宣教の課題は、「土といのち」の関わりを深く思いみることによつて担われていくのです。

### 「カウンセセラ―紹介」



早坂文彦

「信仰は心の病を癒すことができるのか？」これが三〇年前に牧師になって以来の私の関心事で、これまで様々

の心理療法を学び教育セラピーに通いました。一九九六年に留学して瞑想を学びはじめ、二人のカトリック司祭から「霊的指導」を受けました。幼稚園園長になったきっかけで発達障がい児のセラピーを学ぶようになり、また教会員の自死という事態に直面し、本格的に臨床心理学を学ぶ必要を感じて、一大決心をして二〇一一年、大学院に入学。ほぼ同時期に、個人でセラピー・ルームを初め、さらに実習先のフリースクールにおいて嘱託カウンセラーとして働きはじめました。そこでACT（アクセプタンス&コミットメント・セラピー）という、瞑想も含むこれまでの学びの集大成のような心理療法に出会い、去年の秋に大学院を卒業してからは、ACTを中心にカウンセリングをしています。ACTはきわめて謙虚な療法で、限界をわきまえながら神様の働きにゆだねる「霊的指導」として使うことができるといいます。詳細については、論文を書きましたので、お読みいただければ幸いです。またACTは、セラピストとクライアントの対等性を、ラディカルに前提とし、クライアントには以下のように説明します。

「ものはものに分かった人物であるというイメージを持つて相談にやってみます。ですからどんな問題も解決してくれる、苦しまないで済むようにしてくれる、などと期待されず。けれども実際は少し違います。人生を山登りにたとえるならば、それは、一人ひとり神様から自分だけの山を与えられ、それぞれが個性的な山を登っているということではないでしょうか。あなたはその山を登っているのです。けれども私たちはお互いに全く孤独なのではなく、励ましあったり、教えあったりすることが出来ます。こちらの山の山からは、こちらの山の、あなたに見えないものが見えます。「そちらにいくと雪崩に遭いそうだ。」「もつと別の道があるぞ。」「ピッケルの使いかたを覚えてほしい方がいいかな。」といった具合です。とはいえ、そんなふうに見ている私が、もう自分の山の頂上にたどり着いていて、くつろいで気楽にしているというだけではありません。私もまだまだ登っている最中で、つまずきも失敗もたくさんありますし、そこから多くのことを学びつつあるのです。つまり、私たちは全く同じ立場にいるわけで、お互い、

御国に目覚めるその日まで、自分の山を登り続けるしかありません。でもありがたいことに、そこにある楽しみに気づき、登山術だつて磨くことができず。そして、これこそが登山の醍醐味というものがここにカウンセリングの姿があります。

### 「新入生紹介」



稲益久仁子

北海道名寄教会、そして道北クリスチャンセンターのご奉仕を経て、この四月より農村伝道神学校への入学が許されました。送り出してくださいました。愛する家族や教会、道北センター、そして道北三愛塾の皆さまに心から感謝しています。神学校の一日一日を大切に友人たちと共に学び、共に成長したいと願います。また、日曜日は川崎の溝ノ口教会で神学生としてご奉仕させていただいております。神学校の学びと教会奉仕の生

北海道での小さな教会の働きや道北センターの農村伝道の働きが私にとつての大きな転換点でありました。農村伝道の将来と農村教会の未来を課題にして、「主が備えてくださる」信仰を与えられた事は私にとつて大きな喜びです。皆さまどうぞ宜しくお願いたします。



上杉理絵

横浜の中心の片隅にある教会、寿町のなか伝道所の上杉理絵です。以前より聴講させていたいていきましたが、このたび、本格的な学びをスタートさせることが出来ました。聖書が机の上で読むだけでなく、多様な人との出会いの中、社会を通して、体験を通して、また農や黙想の中で神学し、キリストに出会っていく。それは、自分自身との出会いになることだと思います。恐れず目をそらさず、見つめていきたいと思つています。その場を与えられたことを心から感謝します。



原 弓子

日本基督教団稲城教会会員の原弓子です。私は八王子市南大沢から電車とバスを乗り継いで農伝に通っています。久しぶりの学生生活は緊張や戸惑いもありますが、ここで思い切り学べる喜びも実感しています。私はそれまでの教会での生活に挫折しかけていた時に、新しい視点から聖書を読み直すフェミニスト神学に出会いました。私にとって衝撃であると同時に自己を解放するきっかけにもなりました。イエスの生き方とそのメッセージにこそキリスト教の原点があると知った時、私はイエスが示した神について深く学びたいという思いが募りました。



松永明夫

はじめまして、松永明夫です。所属教会は相模原市の三・一教会です。どうぞ宜しくお願い致します。私はあるキリスト者と教会との出会いで、長く抱えている自己否定感を、僅ながらも自己肯定感に変え始めることができました。見えないところで声を上げられないでいる、私と同様な気持ちを抱えた仲間たちがいます。仲間たちのことを思う時、私は自分だけこの教会という居場所にくくぬくしてはいけなないと思えました。私が牧師となり、「大丈夫だよ。」と伝えることが、どれだけ生き証になることを考えた時、伝道者を志したいと強く願いました。私は(大地と向き合い農に根差した神学)という農村伝道神学校の精神に深く共感を覚えます。聖書を批判的に読み、現場から聖書を問い返す作業を学ばせて頂きました。そして、イエス・キリストの生きざま、イエスが語る(神の無条件の愛)(自立)(今を生きる)など思索を深めていきます。



山田原野

死によって自分の人生を変えられる人は多くいるそうです。私もその一人です。三年前のことでした。私より二歳年上の友人の訃報に接したのは、教会との出会いは奈良YMCAで働いていたのがきっかけでした。友人が死んでしまった時にはもう、教会に行っていました。私にとって、それまで聖書という書物は壮大な叙事詩でした。それからというもの、聖書の言葉が日一日と私に近づいてきました。聖書の言葉にガツンときたのです。そして、牧師さんになりたいなあ、と思うようになっていきました。神学校に入るまで大変かな、と考えていました。しかし、職場の理解もすんなり得られましたし、母教会の方々にも喜んで送り出していただけたりと、意外にすんなりと、この神学校に入ることができました。もちろん、神様の恵みだと思っています。でも、それと同じくらい、いや、それ以上に、友人が導いてくれたのだ、と私は感じています。

## 第三七回 戦争責任シンポジウム

三年 川浦弥生

二〇一六年六月七日、「私たちは愛せるか ―二種類の人間類型と『ザイニチ』―」というテーマのもと、戦争責任シンポジウムが開催されました。講師は在日大韓基督教教会横須賀教会牧師の金迅野(キム・シンヤ)牧師。初めに一枚のモノクロの写真が提示されました。生活音があるまま聞こえてくるような狭い路地を赤ちゃんを抱いた若い女性が歩いていく後姿と、その女性を見送るような男性の後姿。それは無言でありながら、饒舌な風景でした。「ここはどこだと思えますか?」それは文京区春日町界限、現在の東京ドームのある場所に、かつて存在した東京オリンピックで消された在日の人々の暮らした町。この一枚は金牧師のお母さんと抱かれた金牧師、おじさんの若い日の写真だそうでした。

古地図によると三〇世帯余りが記されているけれど、お父さんの記憶では一〇〇軒くらいはあったといえます。いまや、どちらが正確かを確かめるすべはないけれど、記録を残せるのは力のある者であり、実証しようがない者がふりしぼって辿った記憶は、聴くものがなければ、なかったことになります。けれどその一枚には、そこで生まれ、生活した人々の声、ささやきが確かな証として残されています。権力者による「歴史」、そのような偏りのある「歴史」の中にいる私たちが「隣人を愛しなさい」という言葉を聞いた時、どのように生きるのかとできるのかと金牧師は問いかけました。

この言葉は、李仁夏(イ・インハ)牧師が設立し桜本保育園を運営する社会福祉法人青丘社が委託を受けて運営している川崎ふれあい館に掲げられた言葉です。「自分を愛するように隣人を愛しなさい」とは、どのように愛するということなのか。輝かしい何かがあるから愛するのか? 国家を愛するように愛するのか? 自分を愛せない子供たちを前にして、そのつばやき、うめきを聞きとらなければとにも生きる関係は成り立ちません。子どもたちの緩慢で過酷な日常と孤独な心に近づくとうする時、支援者の構えではない、

ほかの何か「隙」のあるような人間性が必要となります。ヘイトスピーチに対するカウンターの人々のありかたはどうでしょう。そのやりとりには激しい言葉の応酬があり、ヘイトを受けている当事者の思いを飛び越えた強い言葉が使われます。強い言葉に対抗する強い言葉という関係は、その瞬間には成り立つけれど、単に対峙するのではなく、どうしたら対話できるのでしょうか。中立ではなく、ヘイトされた側の深い思いからできごとを見る時、本当に必要な対話を成立させうる前提は何か。それは声なき人たちの真ん中にするというイエスの愛ではないかと、金牧師は語ります。「真ん中に立ちなさい」イエスは周縁化させられた人や子どもを真ん中にします。放っておいたら、けっして真ん中にはならない人たちの声なき声を敏感に聴いた人、イエス。この社会はそのような声を聴けなくなっているのではないかと反省を迫まられました。

かつての慰安所の前で凍り付いたよに座り込みました。しかし、どこかで誰かが聴き取った時から、新しい物語が始まるのです。十字架の上で横に開かれた手は、そういう声をつなぐためにいつも開かれている、そこに真の共同体の可能性があるのではないかと金牧師は希望を語ります。「ザイニチ」とは周縁に生きる他者を物のように対象化するまなざしではなく「寄留者である世界の様々な少数者との出会いと共感の絆の中で見ざめて生きる」存在たることへの願いがこめられた概念です。その願いを語る金牧師のあたたかい語り口を伝えきれないことは残念です。人間として、見るべきことを見、聴くべきことを聴いていない自らの貧しさを振り返る一日でした。

### 学 事 報 告

◆四月六日(水) 午後一時半 第六八回入学式 六名入学  
メッセージ「暴力に抗して」  
入学者 校長 高柳富夫

- ・稲益久仁子(教団名寄教会)
- ・上杉里絵(教団なか伝道所)
- ・上山英徳(聖公会真光教会…後に自主退学)
- ・原弓子(教団稲城教会)
- ・松永明夫(教団三・一教会)
- ・山田原野(教団高の原教会)

◆四月七日(木) 午後一時 始業講演「人を造ろう」創世記一、二章再考」飯郷友康 講師  
◆四月八日(金) 黙想の時間 オリエンテーション…佐藤研 講師による坐禅指導。今年度より新カリキュラムにて毎週金曜日一限は黙想として坐禅を行う。  
◆四月一二日(火) 前期授業開始。今年度より新カリキュラムにて、毎週火曜一限はコミュニティワーク(学生教師協働による農作業と校地整備)  
◆教会実習、社会実習の準備を進めている。名寄教会、留萌宮園教会、メノヴィレッジ、川崎戸手教会、碧南教会、刈谷教会、水口教会、大江野の花教会、なか伝道所、部落解放センターで行われる予定。なお今年度農伝から台湾玉山神学院への学生派遣は行わない。次年度は台湾からの学生を迎える予定。  
◆農伝研究室に福島恒雄氏所収の北海道キリスト教史関連資料を受け入れて整理中。  
◆校長は神学校に隣接する野津田公園整備計画の見直しを求める運動に関り続けている。四月八日(金) 町田市民ホールで行われた安保法制反対集会で宗教者として意見を表明。  
◆研修棟の改修工事(二階を

### 理事会議員会報告

黙想室へ改装。一階食堂内装。外装塗装等)は八月一日(九月二〇日の間)に行う。  
古川力也氏、大津健一氏、安部一徳氏は、健康上や本務転任の理由により評議員を辞任された。補充として、樋口哲夫氏(将来計画委員会委員長)、荒川朋子氏(アジア学院校長)、長井美歌氏(小田原教会牧師)を選任した。  
鶴川シオン幼稚園は、誕生日を迎え三歳になった月から個々に就園する「満三歳児クラス」を設ける。このため園則の一部を変更した。  
「学校法人会計基準の処理標準の改正」がおこなわれたので、二〇一六年度からこれにもとづいて会計処理がおこなわれている。  
鶴川学院将来計画委員会は、おもに幼稚園のことを協議している。園児が減少している。社会構造の変化によって長時間保育や給食等が求められている。これまで大切にしていた「シオン幼稚園らしさ」を大切にしながら、新しい園をどのように作っていくかを協議している。これまでに竜ヶ崎幼稚園の飯塚拓也園長、川崎頌和幼稚園の滝澤貢園長らから話を聞いてきた。  
(書記 横野朝彦)

### お知らせ

◆集中講義  
原発問題について  
七月二六日(火) 二七日(水) 午前一〇時〜午後三時半  
講師…大久保徹夫氏(原発メーカ―訴訟原告団世話人)  
島昭宏弁護士と川上直哉氏(東北ヘルプ)の講演も入ります。  
・沖縄の弁証法―基地ではなく命を残すために―  
七月二八日(木) 二九日(金) 午前一〇時〜午後三時半  
講師…山田啓人氏(藤沢大庭教会牧師)  
・いづれも公開です。場所は農村伝道神学校教室。聴講料は一日二千元。昼食は各自ご用意ください。聴講のお申し込みは事務室まで。

農村伝道神学校  
〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024  
Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711  
Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp  
ホームページ: http://www.noden.server-shared.com  
振替番号  
農村伝道神学校 00160-6-18485  
農村伝道神学校後援会 00120-6-24418